

# 農と自然と ふれあう

# 若葉区若年世代定住促進プラン 主要リーディング事業

# 子どもと地域と ふれあう

1	若葉農ガール農キッズによる農に親しむ子育てのPR	地元の農家と協力し、若葉農ガール、農キッズによるおしゃれも楽しめて、農に親しむ子育てができることをPRするとともに、転入者等を対象とした市民農園の無料貸し出しも検討する。
2	農業を身近で楽しむための施設	若葉区の特長である豊かな自然を日常の延長で身近に楽しめる施設として、滞在型市民農園施設や若葉区で採れた農産物を使ったおしゃれなカフェ等の参入可能性を調査する。
3	各種施設の誘致検討	耕作放棄地へ、野菜工場などの農業関連施設が立地できるよう、土地所有者(農家)と企業を結びつけるための情報整理やマッチングの仕組みづくりを検討する。また、若葉区最大の特長である、“自然が豊かである”ことを活かし、高齢者がゆっくりと穏やかに生活できるよう高齢者福祉施設などの参入可能性を検討する。
4	自然と触れ合える教育	千葉市動物公園、都市農業交流センターなどの自然を生かした教育を行う。

例



↑ 野良コレwinter (楽農ファッション推進協議会 神戸市)



↑ ずすまパーリー (トマト収穫祭宮城県角田市)



↑ 加曾利貝塚復元集落 (千葉市若葉区)

1	イクメンのための子育て環境の充実	イクメンプロジェクト(厚生労働省)において、若葉区として「イクメンサポーター宣言」を行い、あわせて区内事業所にその登録を促す。また、イクメン支援機関と連携することで、若葉区の子育て環境等の充実をPRする。
2	孫育て世代と地域の子どもがかかわる機会の仕組みづくり	孫育て世代が、孫の有無に関わらず、地域の子どもに関わる機会をすることで、地域の子育てに関わる仕組みづくりを行う。
3	「三世同居等支援事業」のPR	当該事業を積極的にPRすることで、「親子と孫」が、同居または近隣に居住し、子育て、孫育てしやすい環境を推進する。
4	高校や大学との連携	ワークショップやまちづくり会議などに区内在住、在学の学生を参加させ、学生発案の施策や事業を行う。

例



↑イクメンプロジェクトHP (厚生労働省)



↑いしかわ孫育てガイド (いしかわ子育て支援財団)

